

研究課題名	<p>橈骨遠位端骨折症例に対する術後早期リハビリテーションの手関節可動域回復への効果について</p> <p>—術後 6 週までの橈骨手根関節と手根中央関節の可動域の解析—</p>
実施責任者	所属・職名：リハビリテーション部・作業療法士
	氏名： 稲垣慶之
研究の概要	<p>橈骨遠位端骨折に対して手術後早期からリハビリテーションを行った患者様の手関節の動きの回復の仕方を検証します。手関節は解剖学的に2つの関節から構成されており、今回はこの2つの関節のそれぞれの動きについて、どのように回復していくのか調査を行います。</p> <p>今回の研究は、当院の電子カルテシステムより情報を収集します。なお、この中に氏名や住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
対象となる個人情報	年齢，性別，レントゲン画像，手関節の可動域，握力
実施の期間	西暦 2010 年 4 月 1 日より
	西暦 2015 年 3 月 31 日まで
研究対象	<p>当院にて橈骨遠端骨折で手術を行い，機能撮影を行った方。</p>